

造影 CT 検査説明書

【造影剤 CT 検査とは？】

今回実施する CT 検査は、“造影剤”という薬剤を注射して行います。造影剤を用いることにより、あなたの病気の状態をより正確に明らかにし、診断に重要な情報がより多く得られ、効果的な治療に役立てることが出来ます。造影剤を使用しない場合、病気の種類によっては正確な診断が出来ず病気を見落とす場合があります。造影剤を使用せずに診断ができる場合や造影剤の副作用が強くなることが予想される場合には原則使用しません。

【検査の具体的方法】

造影剤を機械を用いて勢いよく静脈内に注入しながら、1回～複数回撮影をします。撮影部位によっては数秒～20秒ほどの息止めが必要です。造影剤の作用で熱感があります。血管外に造影剤が漏れ、注射した部位がはれて痛みを伴うこともあります。基本的には時間と共に吸収され、体外に排出されるので心配ありません。ただし漏れた量が非常に多い場合には、別の処置が必要となることもあります。

【造影剤使用で起こりうる副作用・合併症と危険因子】

副作用・合併症とは手術や検査などの後、それらがもとになって起こることがある病気です。これは必ず起こるわけではありませんが、どんな処置・検査でも起こる可能性があります。

◎特別な病態で発生する場合があります、注意を要する病気（甲状腺疾患、重症筋無力症、褐色細胞腫、骨髄腫、マクログロブリン血症、糖尿病、心臓病、肝臓病）やテタニーのある方、注意を要する薬（糖尿病薬、鎮痛剤、抗菌剤、心臓病薬、抗がん剤等）などを考慮して、造影剤を使用するかどうかを慎重に決定する必要があります。

◎造影剤が体に合わないことによって起こる副作用・合併症

比較的多い症状は、蕁麻疹、頭痛、吐き気・嘔吐、めまい、咳・くしゃみなどですが、稀に重大な副作用（呼吸困難、血圧低下、けいれん、ショック状態、心停止等）が起きることがあり、ごく稀に脳障害等の後遺症を残したり死亡する可能性があります。症状が出る時期は注射した後すぐ起こる場合（即時性）がほとんどですが、検査終了後1時間から数日後に起こる場合（遅発性）もあります。上記の副作用・合併症の発現を予測する確実な方法はありません。造影剤副作用の既往や、喘息のある方は、重い副作用・合併症の発生確率が高いことが知られています。また、注意を要するアレルギー歴（花粉症、アトピー性皮膚炎、薬アレルギー等）もあります。

◎造影剤腎症

造影剤に起因する急性の腎障害です。多くは可逆的ですが、稀に一時的～永久的な血液透析が必要となる場合や死亡の原因となる可能性もあります。造影剤腎症は腎機能が低下している人に起こりやすいことが知られています。最近（検査前3か月以内）の血液検査データがなければ、腎機能チェックのための血液検査が必要となります。

◎注射に伴う痛み

造影剤を勢いよく注入するためお薬が血管外に漏れたりすることで、注射部位が腫れて痛みを伴うことがあります。ほとんどの場合数日で軽快しますが、まれに症状が長引いたり、しびれや疼痛などの後遺症を残す可能性もあります。また、別の処置が必要になることもあります。万が一、副作用・合併症が起きた場合には最善の処置を行います。

【副作用の種類や発生頻度は？】

〈軽症の場合〉吐き気・動悸・頭痛・かゆみ・発疹など。(約100人につき5人)基本的に治療を要しません。

〈重症の場合〉呼吸困難、意識障害、血圧低下など(約2.5万人につき1人)。このような副作用は、通常は治療が必要で、場合によっては後遺症が残る可能性があります。そのため、入院などが必要なこともあります。極めて希ですが、症状・体質によっては死亡に至った例もあります(約40万人につき1人)。また前回の造影剤使用の際には異常がなくても、今回の造影検査で副作用が出ることもあります。

【危険因子を有する方の検査について】

造影剤副作用歴や喘息歴、高度の腎機能障害のある方（透析施行中を除く）や、その他特殊な病態で副作用・合併症の危険性の高い方には原則造影剤は使用できません。ただし、中等度の腎機能障害で、検査による危険性より検査から得られる有益性が高いと考えられる場合に限り、検査前後に輸液を行いながら造影検査を行うことがあります。その際でも、造影剤腎症が発症する可能性を全て防げるわけではありません。したがって、検査施行にあたっては危険性について十分納得の上、同意・署名してください。

【造影前後の処置について】

検査前後に十分に輸液を行って検査をする場合、検査前輸液のため検査開始が30分ほど遅くなります。また、検査後も輸液に1時間ほどかかります。検査前後に処置の必要な方につきましては、検査当日は時間に余裕をもってお越しください。

【内服薬の休薬について】

ビグアナイド系糖尿病薬を服用している場合、検査前 48 時間～検査後 48 時間の休薬をしていただきます。また、腎毒性のある薬剤を服用中の方も、休薬していただく場合があります。主治医の指示に従って下さい。血圧や心臓のお薬等、とくに休薬の指示のないお薬は通常どおり服用されてください。

①検査前 3 時間は絶食してください。飲水に関しては、水分制限の方を除き、検査の 30 分前まで水・白湯に限り飲水できます。脱水状態の予防になりますので、多めに飲まれてかまいません。（牛乳等の乳製品やカフェインを含んだものは飲まないでください。）②服用中のお薬は、特に医師の指示がない限り通常通り服用してください。③帰宅後は入浴や食事、運動などの日常生活は普段通りでかまいませんが、以下の点に注意してください。検査終了後、造影剤を早く体から出すために、お水やお茶等の水分を多めに飲んでください。帰宅後、副作用と思われる症状が出た場合には、病院までご連絡、又は来院してください。胎児・新生児への造影剤の安全性は確立されていません。妊娠中および授乳中の方は検査前に必ずお知らせください。また、ご不明な点や質問等ありましたらおたずねください。

【状況に応じた検査・処置内容変更の可能性】


問診等により副作用・合併症の危険性が高いと判断される場合や他の検査結果によっては、同意書に署名をいただいても造影剤検査を行わない場合があります。また、造影剤を減量したり、前処置を加える場合もあります。

【同意の撤回について】

あなたには選択の自由があります。今回の造影検査に代わる検査はないのか、造影検査を行わない場合に生じる不利益がどのようなものなのか、主治医とよく相談のうえ、造影剤使用の有無を選択してください。説明に納得していただきましたら同意書に署名をお願いいたします。また、一旦署名していただいた後でも、同意はいつでも取り消すことができますので申し出てください。

造影検査帰宅後の、体調不良などありましたら、いつでもご連絡下さい。

その他、何かご不明な点がございましたら、当院までご連絡下さい。

 みずほ足クリニック

TEL : 0 5 2 - 8 5 2 - 5 2 1 1

FAX : 0 5 2 - 8 4 1 - 6 9 6 1